

科目名	ネットワークⅢA					
科目名(英)						
単位数	10単位	時間数	150時間	担当者	北原 聡・打越 直美	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・ 情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年					
授業概要	大規模ルーティングプロトコル、ネットワーク管理技術、広域ネットワーク構築技術を学習し、中規模ネットワークの構築と運用ができるようになる。 iCDタスクコード : DV04.4.1					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				ダイナミックルーティングおよびIPサービス、ネットワーク管理の仕組みを説明できる。
	○	○	○			中規模企業ネットワークの構築ができる。
	○	○	○			中規模企業ネットワークの運用ができる。
テキスト・教材 参考図書	シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集[対応試験]200-301(翔泳社)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1-4	ダイナミックルーティングの概要			スタティックルーティングを復習	
	5-9	OSPFの動作概要				
	10-12	マルチアクセス環境でのOSPFの動作				
	13-17	OSPFの設定と確認			OSPF設定コマンドを復習	
	18-19	OSPFv3の概要				
	20-22	OSPFv3の設定と確認				
	23-26	IPv4標準ACLによるフィルタリング				
	27-31	IPv4拡張ACLによるフィルタリング			ACL設定コマンドを復習	
	32-34	IPv4ACLのトラブルシューティング				
	35-37	スタティックNAT				
	38-41	PAT			NAT設定コマンドを復習	
	42-44	DHCPサーバー設定				
	45-46	DHCPクライアント設定				
	47-48	DHCPリレー			DHCP設定コマンドを復習	
	49-51	ネットワーク管理 Syslog				
	52-54	ネットワーク管理 NTP				
	55-57	ネットワーク管理 LLDP、CDP				
	58-59	IOSの管理				
	60-61	TFTPによるIOSの管理				
	62-63	パスワードリカバリー				
	64-67	ネットワーク管理 AAA				
	68-71	ネットワーク管理 SNMP			セキュリティの基本的事項を復習	
72-75	ネットワーク管理 QoS					

評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを10回実施する。 (3)実習内容を課題レポートとして提出させる。(4)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				40%
	確認テスト		◎				20%
	課題		◎	○			20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	ネットワーク構築演習A						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	北原 聡・打越 直美		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・ 情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年						
授業概要	イーサネット技術を理解し、ルータやスイッチを組み合わせてネットワークを構築するために必要な設定、動作確認、トラブルシューティングができるようになる iCDタスクコード : DV04.4.1						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ルーティング、スイッチングの基本機能、仕組みが説明できる	
	○	○	○			ルーティング、スイッチングに関する設定、動作確認ができる	
	○	○	○			ルーティング、スイッチングに関するトラブルシューティングができる	
テキスト・教材 参考図書	シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集[対応試験]200-301(翔泳社)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-2	ルータ、スイッチ基本設定			ルータの基本コマンドを復習		
	3-4	サブネット計算、スタティックルーティング、デフォルトルート					
	5-6	IPv6アドレス設定、スタティックルーティング、デフォルトルート					
	7-8	VLAN、トランク、DTP			VLANの基本コマンドを復習		
	9-10	VLAN間ルーティング					
	11-12	VLAN間ルーティングとスタティックルーティング					
	13-14	STP基本設定、拡張機能			STPの基本コマンドを復習		
	15-16	イーサチャネル(スタティック、ダイナミック)					
	17-18	VLANとSTP					
	19-20	VLANとHSRP			HSRPの基本コマンドを復習		
	21-22	VLANとHSRPとダイナミックルーティング					
	23-24	OSPF			OSPFの基本コマンドを復習		
	25-26	スタティックルーティングとOSPF					
27-28	OSPFv3			OSPFv3の基本コマンドを復習			
29-30	スタティックルーティングとOSPFv3						
評価方法	(1)実習内容を課題レポートとして提出させる (2)授業の中で單元ごとの授業内評価テストを3回実施する (3)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	演習課題レポート	○	◎	○			40%
	授業内評価テスト	○	◎				40%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない						

科目名	サーバー構築・運用演習Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	久保山 大地		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・ 情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年						
授業概要	IPv6を使用したサーバーの構築を行う。管理系サーバーの構築を通して運用技術を習得する。 Dockerを使用したサーバー構築を行い、新しいインフラ基盤となるコンテナ技術を学習する。 iCDタスクコード : DV04.7.1						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				IPv6の仕組みを理解し、BIND、Apacheの基本設定ができる。	
	○	○				管理系プロトコルの仕組みを理解し、Zabbix、Syslog、Splunkの基本設定ができる。	
	○	○				Dockerの仕組みを理解し、Dockerの基本操作ができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル教材						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-4	IPv6概要			CCNAのIPv6の範囲を復習すること。		
	5.6	IPv6 DNS演習			2年次のDNS構築の内容を復習すること。		
	7.8	IPv6 WEB演習			2年次のWEB構築の内容を復習すること。		
	7.8	SNMP概要、Zabbix演習					
	9-12	Zabbix、Grafana演習					
	13-20	Syslog、Swatch、Splunk演習					
	21.22	LAMP概要、WordPress演習					
	23.24	サーバー仮想化技術概要、Docker概要					
	25-29	Docker基本操作					
	30	総復習					
評価方法	(1)複数回確認テストを実施し評価する。(2)受講状況を評価する。(3)定期試験(筆記)を実施し評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	◎		◎		30%
	受講状況				◎		20%
	定期試験(筆記)		◎				50%
履修上の注意							

科目名	ビジネスコミュニケーションⅢ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	逢坂 美千代		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年						
授業概要	ディベートの基礎知識を習得し、実習を行うことで論理的な討論技法を段階的に身につける。 ①客観的、批判的、多角的な視点が身につく。②論理的な思考表現が出来るようになる。 ③自分の考えを筋道を立て、人前で堂々と主張できるようになる。 iCDタスクコード 該当なし						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ディベートの手法を理解できる。	
		○				きちんと理由、筋道をつけて自分たちの主張を相手に伝え、納得してもらうことができる。	
テキスト・教材 参考図書	ネコと学ぶディベートの本 デザインエッグ社						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 ディベートとは 第2章 ディベートのルール					
	2	第3章 ディベートの基礎					
	3	第4章 立論の作り方					
	4	第5章 反駁の考え方				授業内容に係るレポート作成および提出	
	5	第7章 ディベートを行う準備 第9章 ジャッジ					
	6	①テーマ発表・準備				授業内容に係るレポート作成および提出	
	7	①ディベート実技／振り返り／講評				授業内容に係る実技レポート提出	
	8	②テーマ発表・準備				授業内容に係るレポート作成および提出	
	9	②ディベート実技／振り返り／講評				授業内容に係る実技レポート提出	
	10	③テーマ発表・準備				授業内容に係るレポート作成および提出	
	11	③ディベート実技／振り返り／講評				授業内容に係る実技レポート提出	
	12	④テーマ発表・準備				授業内容に係るレポート作成および提出	
	13	④ディベート実技／振り返り／講評				授業内容に係る実技レポート提出	
	14	まとめ1					
15	まとめ2						
評価方法	(1)演習ごとにレポートを実施する。(2)確認テスト(実技)を数回実施する。(3)受講状況进行评估する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート	○	◎		○		55%
	確認テスト	○	◎		○		25%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない。						

科目名	一般教養ⅢA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	木村 浩昌		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報工学科 3年・情報システム専攻科 3年 情報システム科アドバンスコース2年、情報システム専攻科アドバンスコース2年						
授業概要	就職筆記試験における「SPIテスト」の対策を行う。 (1)非言語(数学)分野:計算を「基本通りに行い」答えを求める手順を確認する。 (2)言語(国語)分野:出題パターンの確認及び練習問題を演習する。 iCDタスクコード 該当なし						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				言語(数学)分野・非言語(国語)分野の問題に対して、解答を説明できること。	
テキスト・教材 参考図書	最新最強のSPIクリア問題集(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職筆記試験について、SPIテキストの構成・内容の確認 数学分野(1:仕事算)					
	2	国語分野(1:二語の関係①)、数学分野(2:鶴亀算)・連立方程式の演習					
	3	国語分野(2:二語の関係②)、数学分野(3:損益算)					
	4	国語分野(3:文法)、数学分野(4:速さ・時間・距離)					
	5	国語分野(4:語句の意味)、数学分野(5:場合の数)					
	6	国語分野(5:短文の穴埋め)、数学分野(6:確率)				小テストの範囲を復習しておくこと	
	7	小テスト 国語分野1~5、数学分野(1~6)					
	8	小テスト 返却&解説&見直し				小テストの不正解の問題を見直すこと	
	9	国語分野(6:文章整序)、数学分野(7:精算と割引料金)					
	10	国語分野(7:空欄補充)、数学分野(8:分割払い)					
	11	国語分野(8:長文読解)、数学分野(19:参考問題1)					
	12	国語分野(9:参考問題)、数学分野(19:参考問題2)					
	13	数学分野(13:集合)					
	14	数学分野(15:ブラックボックス、17:物の流れと比率)					
15	期末試験対策						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。(3)受講状況进行评估する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				55%
	小テスト	◎	◎				25%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	Webアプリケーション演習A						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	柴内 加代		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻3年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻3年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース2年						
授業概要	PHP言語を活用したWebアプリケーション開発の基礎の修得を目指す。演習を通じて動作確認しながらWebアプリケーションの仕組みを理解する。また、適宜追加の演習問題を実施して、知識の定着を図る。 iCDタスクコード						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Webアプリケーション開発環境を構築することができる	
	○	○				PHPの基本的な知識(基本構文、制御構文等)を利用したプログラムを作成できる	
		○				データベースを操作することができる	
テキスト・教材 参考図書	基礎からのPHP(ソフトバンク クリエイティブ株)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	CHAPTER01 PHPの概要、CHAPTER02 PHP利用準備					
	2-3	CHAPTER03 PHPが確実に動作するまで				環境の構築を完了させること	
	4-5	CHAPTER04 PHPの基礎の基礎					
	6-8	CHAPTER09 Webページからデータ送信				演習課題を終了させること	
	9-12	CHAPTER05 条件分岐と繰り返し				演習課題を終了させること	
	13-14	CHAPTER06 ユーザー定義関数					
	15-16	CHAPTER07 日本語文字列を扱う				演習課題を終了させること	
	17-19	CHAPTER08 配列				演習課題を終了させること	
	20-21	CHAPTER10 MySQLを利用するために				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22-23	CHAPTER11 phpMyAdminによるMySQL操作の基本				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	24-25	CHAPTER12 SQL文の基本					
	26-28	CHAPTER13 PHPでMySQLを利用する				演習課題を終了させること	
	29-30	総合演習					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)各内容での演習課題を実施する。(3)受講状況の評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎		○		50%
	課題確認レポート	○	◎		○		40%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	USBメモリを持参すること。						

科目名	情報処理試験対策春対策A						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	46時間	担当者	川野 啓祐		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム専攻科3年・情報工学科3,4年・ 情報システム科アドバンスコース2年・情報システム専攻科アドバンスコース2,3年						
授業概要	経済産業省主催 情報処理技術者試験の出題範囲に準拠し、各受験区分のレベルに応じた用語や知識の習得を行う。さらに演習問題を使用し、実践的な解答方法の演習を行う。 iCDタスクコード 該当なし						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				試験範囲内の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				試験範囲内における様々なIT技術に関する仕組みについて説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	各受験区分で指示があります。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~10	IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。			分からなかった部分の復習をしておくこと。		
	11~23	理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、基礎的な難易度の午後問題を中心に実施する。			分からなかった部分の復習をしておくこと。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。ただし、国家試験を定期試験とみなす。(2)確認テストを数回実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				60%
	確認テスト	○	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない						

科目名	情報処理試験対策秋対策A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	32時間	担当者	川野 啓祐・姫野 マリ		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科2年・情報システム専攻科2,3年・情報工学科2,3,4年 情報システム科アドバンスコース1,2年・情報システム専攻科アドバンスコース1,2,3年						
授業概要	経済産業省主催 情報処理技術者試験の出題範囲に準拠し、各受験区分のレベルに応じた用語や知識の習得を行う。さらに演習問題を使用し、実践的な解答方法の演習を行う。 iCDタスクコード 該当なし						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				試験範囲内の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				試験範囲内における様々なIT技術に関する仕組みについて説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	各受験区分で指示があります。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~8	IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。			分からなかった部分の復習をしておくこと。		
	9-16	理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、基礎的な難易度の午後問題を中心に実施する。			分からなかった部分の復習をしておくこと。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)確認テストを数回実施する。(3)受講状況进行评估する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				60%
	確認テスト	○	◎				20%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							